

西洋美術史の流れ

木村泰司の美術は語る

講師 西洋美術史家 木村 泰司

美術鑑賞をより楽しむために、まずは個人の主観を省き、自分の好き・嫌いで鑑賞することを止めてみましょう。何が美しいのかを学ぶことが出来るのが美術史であり、そしてそれが美術史の楽しさでもあります。それぞれの時代のエッセンスを吸収し、造形化したものが美術です。美術史を通じて美の規範を学び、それぞれの時代背景を知ることによって、建築、絵画、そして彫刻は、様々なことを私たちに語り掛けてくれるようになるのです。

(講師記)



- 次期からのテーマは裏面をご覧ください。
- 2016年4月期スタート。1年9か月、全7期を予定しています。

回	期 日	テ ー マ
1	4/27	17世紀オランダ絵画の黄金時代・前編
2	5/25	17世紀オランダ絵画の黄金時代・後編
3	6/22	18世紀ヨーロッパ美術の行方 (18世紀ヴェネチア派、ゴヤ、新古典主義)

※裏面に各期のテーマを記載しています。

■日 時 2017年4月27日～6月22日 全3回
第4木曜 13:00～14:30

■受講料 4～6月(3回) 8,748円(要入会)

※入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料(要証明書)

<講師紹介> きむら・たいじ 1966年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を取得後、ロンドンのサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『名画の言い分』『巨匠たちの迷宮』『印象派という革命』(以上集英社)、『謎解き西洋絵画』(洋泉社)、『美女たちの西洋美術史』(光文社新書)、『名画は嘘をつく』『名画は嘘をつく2』(ビジュアルだいわ文庫)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。

*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 湘
朝日JTB・交流文化塾 | 南

〒251-0052 藤沢市藤沢438-1 ルミネ藤沢店 9F
電話 0466-24-2255 URL : <http://www.asahiculture.jp/shonan>

〈各回テーマ〉 第5期以降、内容に多少の変更があります。

第1期（2016年4月～6月）・・・終了

1. ギリシャ美術と古典主義
2. エトルリア美術とローマ美術
3. 初期キリスト教美術とロマネスク美術

第2期（2016年7月～9月）・・・終了

4. ゴシック美術と国際ゴシック様式
5. 初期ネーデルラント絵画
6. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派

第3期（2016年10月～12月）・・・終了

7. イタリア初期ルネサンス美術
8. イタリア盛期ルネサンス美術
9. ヴェネチア派とマニエリスム

第4期（2017年1月～3月）・・・終了

11. イタリア・バロック美術
12. スペイン・バロック美術
13. フランドル・バロック美術

第5期（2017年4月～6月）

13. 17世紀オランダ絵画の黄金時代・前編
14. 17世紀オランダ絵画の黄金時代・後編
15. ヨーロッパ美術の行方（18世紀ヴェネチア派、ゴヤ、新古典主義）

第6期（2017年7月～9月）

16. 17世紀フランス古典主義・前編
17. フランス古典主義・後編
18. 18世紀フランス・ロココ美術

第7期（2017年10～12月）

19. 19世紀フランス絵画（新古典主義とロマン主義）
20. 18世紀イギリス美術史（スチュワート朝からジョージ王朝へ）
21. 19世紀イギリス美術史（ヴィクトリア朝からエドワード朝へ）